

どんぐい村の こみ・すく通信

令和5年8月10日発行 令和5年度 第9号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その5> 地域の虫博士である齋藤さんが授業

7月7日、上更別小学校3、4年生の総合的な学習の時間「生き物調べ」で、地域の虫博士である齋藤彦馬さんに来校いただき、「奥深い昆虫の世界」について授業をしていただきました。

昆虫は生物の8割を占め、重要な役割を果たしています。

気候によって住んでいる虫の種類が違うこと、昆虫を取り巻く環境や違法採集や昆虫の乱獲、放虫に至るまで詳しく教えてもらいました。



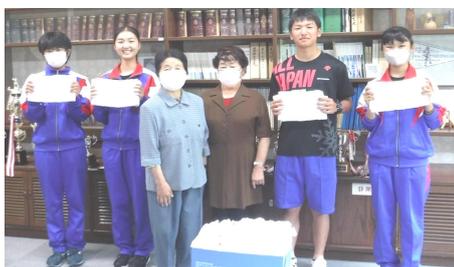
次に更別村に実際に生息している昆虫を見せてもらったあと、外に出て虫捕りをしました。



こんな虫が村にいるんだ！

地域の方々が雑巾を縫ってくれた

1学期に更別小学校ら「雑巾が足りなくなってきた」というお話を伺いました。社会福祉協議会に相談したところ、寄贈されているタオルを活用し、シルバーハウジングやすずらん会等の十数の方がボランティアで雑巾を縫ってくださったそうです。



7月19日 中学生が雑巾を受け取る

500枚以上が出来上がり、村内小中学校に寄贈していただきました。

子どもたちのためにという思いで雑巾を縫ってくださったこと、心から感謝申し上げます。

「畑作」のことを保護者から学ぶ

更別小学校3年生が社会科の「農家の仕事」を学ぶために山本農場を訪問しました。対応してくださったのは、保護者の山本さんをはじめ、塩田さん、梶さん、穴戸さんです。

子どもたちの「なぜ農家になったのですか？」の質問に対して「同じ農業をする仲間がいたから。」「畑がある環境で自然にそう思った。」「おいちやんの時から続く農家なので。」と返答。



「頑張ってますね。」「作物が大きいですね。」と言われるとうれしいです。

畑に植えている芋の生育状況の確認をした後、子どもたちからの質問に丁寧に答えていただきました。また、トラクターや玉ねぎ収穫機を見せてもらい、更別村の大規模農業の実際を知ることができました。



SNSについて学ぶ

2月開催の村民集会で講演をされた中谷通

恵さんが更別中央中学校の依頼を受け、来校されました。中学生の各学年に対してSNSに関する貴重なお話をさせていただきました。

また、参観日でもあったため、家庭教育研修会としても、大人向けに「考えよう大人の役割～子どもの未来を守るネット対策～」のお話をいただきました。



- ・睡眠の大切さ
- ・ネットの脳への影響
- ・スマホ・ネット・ゲーム依存になると深刻
- ・けじめをつけて遊ぶ